

序章 業務の背景と目的

0-1 業務の背景

従来、ダムは治水や利水を目的として、下流流域を災害から守るとともに、産業経済の発展のために整備され維持管理が行われてきた。しかし最近では、これらの機能に加えて、ダム及び水源地域の豊かな自然や文化を活かした地域の振興及びバランスの取れた流域の発展を図ることにより、21世紀のランドデザインの一部として機能することが期待されるようになってきている。

このため、国土交通省では、直轄ダム、水資源機構ダムについて、地域ごとにダム水源地域の自治体等と共同し、地域住民も参加して、ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図るための「地域水源地ビジョン」の策定を進めている。

0-2 業務の目的

上記のような背景を受けて、横川ダム工事事務所ではダム水源地域の自治体・住民等と共同で、ダムを活かした水源地域の活性化を図るための「横川ダム水源地ビジョン」の策定に着手している。

そこで、地元自治体である小国町は、横川ダム工事事務所の策定する同ビジョンと町の総合計画や施策等と整合を図る必要があるため、本業務は、同ビジョン策定に対して、横川ダムの利活用に関する小国町としての提言をとりまとめることを目的とする。



横川ダムダム完成予想CG写真（横川ダム工事事務所）